

12/18 早稿

参院選 7月10日有力

通常国会来月17日召集方針

政府、与党は、来年の通常国会を一月十七日に召集する方針を固めた。自民党幹部が立憲民主側に日程を伝えた。自民幹部が十七日、明らかにした。会期は延長がなければ六月十五日までで、通例の日曜投票な

ら参院選は公選法の規定で七月十日投開票となる。参院選がある年の通常国会は延長を避ける例が多く、この日程が有力となつた。

政府は一月上旬に衆参両院の議院運営委員会理事会へ召集日を正式に伝達する方向だ。通常国会では二年一度予算案の早期成立を図る。提出法案を絞り込み、延長を極力回避する考えだ。

通常国会は会期百五十日で一回延長である。国際法改正で一日召集となつた

十九一年以降、参院選を控えた十回の通常国会で延長は九八年と二〇〇七年の一回のみ。ともに参院選日程が当初より一週間遅れた。いざれも自民が惨敗した。

岸田文雄首相は早期訪米によるバイデン米大統領との会談を目指している。政府は召集日をにじみ米側との日程調整を進める。召集日は「一月二十一日や二十四日」などと示す案もあった。ただ、会期延長がなければ参院選は七月十七日投開票で、土曜日を含めた三連休中となるため、望ましくないとの指摘があつた。